

平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

事業名	新規学卒の早期離職者に対する「日本版デュアルシステム」活用型 【若者再チャレンジ支援】プログラム		
法人名	学校法人新潟総合学院		
学校名	国際アート&デザイン専門学校		
代表者	理事長 渡辺 敏彦	担当者 連絡先	生涯学習企画室 金内 正 TEL 024-941-0117

1. 事業の概要

(1)入校者(受講者)の公募

新規学卒の「早期離職者」および「フリーター」で、学校卒業後、概ね3年以内の若者を一般公募した。〔定員30名〕
受講登録者の選考は、「キャリアカウンセラー」が中心となり、応募者の属性や職業的自立心や、本事業の目指す再チャレンジのプログラムを理解し実行できる若者か否かを検討し受入れ決定をした。

(2)希望職業・職業適性のマッチングセミナー

希望の職業や職業適性を単なる机上学習やバーチャル的な診断等で決定しないで、実際の仕事内容や職業の適性などを踏まえて選択できるよう、各業界の第一線で活躍する方を講師に招き「業界説明会」の形式で開催した。

(3)保護者対象セミナーの実施

離職による無業者やフリーターは、保護者等の経済的協力がなければ一定期間拘束される学習講座や企業実習などに参加することが困難であることなどを理解して頂くため、「保護者向けセミナー」を開催した。

セミナーでは、受講生が各講座や企業実習等に参加し就職活動に専念できるよう、経済的な支援や協力を得られる支援や協力を得られる環境作りの啓蒙を目指した。

(4)専門的能力・技術の習得学習講座の実施

専門的能力・技術習得講座は、福島県内の求人充足率の低い職種で、本学院グループの設備や教育環境を活用できる学習講座を開講した。

具体的には受講者の希望・適性に応じ、次の5コースの学習講座を開講し、専門的能力・技能の習得を目指した。

〔A〕「医療事務実践コース」

〔D〕「DTP Webデザインコース」

(5)企業実習の実施

専門的能力・技能の現場実践と受講生の実践能力測定、適性測定を行うために、それぞれの業界分野での企業実習を実施した。

企業実習は、取得した技能・技術を現場で実践活用し、職業適性等を実体験できるよう、それぞれの業界分野から企業を選定し、本事業に理解と協力を得られる企業を選定し実施した。

具体的には、(5)の「専門的能力・技能の習得学習講座」の5種類のに分け、分野別に企業を選定・決定した。

(6)就職セミナーの実施

①「企業実習」実施前にビジネスマナーセミナーを、②「就職活動」開始前に就職セミナーを実施し、企業での実習・実践のための基本スキルと就職活動の基本スキルを習得を目指した。

(7)キャリアカウンセリングの実施

受講者が、離職による無業状態あるいはフリーター状態から「正規雇用」就職に向かわせるために、メンタル的なケアや自立支援のための様々な相談・アドバイスをを行った。カウンセリングは、専門の有資格者および若者自立支援に実績のある各団体と連携しながら実施した。具体的には以下の通り、

①〔入校時のカウンセリング実施〕

③〔学習講座期間中のカウンセリング実施〕

※カウンセリングの実施に際しては、〔個人カルテ型〕のカウンセリング記録を作成し、各カウンセラーでクライアントの現況を速やかに、正確に共有できる環境を構築できるよう努めた。

(8)「合同就職面接会」への参加支援

「福島県中小企業団体中央会」主催の合同企業面接会に就職未決定の受講生を全員参加させ、会場内での個別相談や面接会参加の誘導・サポートをキャリアコンサルタントが実施した。

- ◆面接会開催日：平成21年1月19日(月) ◆開催場所：「ビッグパレットふくしま」(郡山市安積町)
- ◆面接会参加企業数：47社(「正社員」採用企業のみ参加)

(9)就職決定後の職場定着カウンセリングの実施

事業の最終日(3月13日)まで、受講者の個別カウンセリングを実施し、就職決定者の職場定着のための支援を実施した。具体的には、就業時間や勤務地の問題で直接合って面談する機会を設けることが困難な場合があり、悩み相談や就労に関するアドバイスを電話対応や電子メールで対応しながら実施した。

【啓蒙普及セミナーの開催】

啓蒙普及活動として下記内容のセミナーを開催した。

(10)「啓蒙普及セミナー 1」

- ◆開催趣旨：「若者」の早期離職の裏側にある社会的背景と、その受入れ企業や地域社会への啓蒙普及として開催。
- ◆開催日程：平成20年9月21日(日) ◆開催場所：「郡山市労働福祉会館」(郡山市虎丸町)
- ◆講演テーマ：『若者が社会的弱者に転落する』
- ◆講師：「宮本 みち子」氏(放送大学教授)
- ◆来場者数：167名(若年者支援関係者、教育関係者、一般社会人)

(11)「啓蒙普及セミナー 2」

- ◆開催趣旨：企業の「新入・若手社員」の人材育成と職場定着促進のため。(受け皿である企業の意識改革啓蒙として)
- ◆開催日程：平成20年11月29日(土) ◆開催場所：「郡山市労働福祉会館」(郡山市虎丸町)
- ◆講演テーマ：『新人・若手社員のやる気を引き出すコーチング術』
- ◆講師：「桜井 一紀」氏(株コーチ・トゥエンティワン社長)
- ◆来場者数：331名(企業、団体の経営者・人事担当者・管理者、教育関係者、)

2. 事業の評価に関する項目

①目的・重点事項の達成状況

・支援対象者として「新卒早期離職者」を中心に受入れを考えていたが、応募者が募集定員に満たなかったこと、ハローワークや地元の「地域若者サポートステーション」等の各機関からの受入れ要請を受けたこともあり、精神的ケアを要する受講生と「精神疾患」の疑いのある受講生についても受入れをし、支援をすることとした。

この内「精神疾患」の疑いのある受講生については、実施委員として参画いただいている「精神科医」の心療を定期的に受けていた患者でもあったため、このドクターと連携し8ヶ月間の就職支援プログラムを展開した。

その結果その受講生は、見事に「正社員就職決定」という結果を出すことができた。

その受講生は、9年前から通院治療を続けて、「地域若者サポートステーション」や自立支援の各機関に数年間通い自立と就労を目指していたが、本格的な就職活動に取り組めたこと、そして【正社員】としての就職を実現したのは生涯はじめてのことである。

連携してきたドクターから「通院治療だけ続けていては、ありえなかったすばらしい結果である」という評価も頂いた。

本事業では、前年度の事業結果から見えてきた数々の課題をクリアできるプログラムの開発と、その実行に心掛けた。

具体的には、・[保護者との連携] ・[学習～企業実習を通じ客観的分析データを活用したカウンセリング]

・[実習先企業との個別支援情報の共有] ・[定期的な受講生、講師等との交流会(コミュニケーションスキルアップ)の開催]など

②事業により得られた成果

数値目標成果については、③に記載の通りです。

○軽度の精神疾患患者を含む若者の再就職や自立支援のための「モデル的なプログラム」が見えてきたこと。

○軽度の精神疾患患者を含む若者の再就職や自立支援のための「不可欠な支援者のネットワーク像」が見えてきたこと。

○本事業の意味を理解し、若者支援に理解を頂く企業の啓蒙活動の重要性・必要性の再認識したこと、そしてその効果として、彼らにたいして【正社員就職】の道を与えてくれる企業が現れてきたこと。

(この、就職緊急事態の状況の中で)

○本事業を2年連続で受託実施し、福島県内各地への啓蒙や種々の情報発信の内容や事業の成果について一定の支持を頂くことができてきたこと。その具体的な成果として、県の雇用労政課をはじめとして『若年者の就職支援』に関する公的事业への参加団体として推薦を頂くケースが増えており、今後は公的事业の中でこれらのノウハウを活かして行けること。

③今後の活用

県の雇用労政課をはじめとして『若年者の就職支援』に関する公的事業への参加団体として推薦を頂いておりそれらの公的事業の中でこれらのノウハウを活かして行きたい。
また、本事業の関連する事業に取り組んでいる様々なNPO法人や、民間団体・公的団体と連携し、若者の自立や再就職支援に力を注ぎたい。

④次年度以降における課題・展開

「早期離職をした若者」や「就労経験のない若者」などの自立や再就職支援は、【精神的ケアやフォロー体制】が極めて重要である。その意味では、支援対象者を一定の基準で分けるのは望ましくない。
そこで、対象者をあまり限定せずに、参加者の属性に応じて支援プログラムを組んで支援を展開できる事業への取り組みをして行きたい。

3. 事業の実施に関する項目

①履修証明書等

本プログラム修了者全員に対し、3月1日の「修了式」において交付した。

②カリキュラム及び講座の内容

○＜希望職業・職業適性のマッチング・セミナー＞

選択分野・職種	対象業種	内容
医療事務	医療機関・調剤薬局	医療事務の業務内容の実情紹介(業界人から)
CAD設計技術	CAD設計業務内容と就職・求人状況	CAD設計業務内容紹介(業界人から)
DTP・デザイン	印刷・広告デザインの仕事内容紹介と就職の現状	広告業界等業務内容紹介(業界人から)
ネイリスト	ネイルサロン業界とプロの適性について	ネイルサロンオーナーによる仕事内容と現場・就職状況の紹介

○＜保護者対象セミナーの実施＞

受講生の保護者全員に参加頂くため、計3回セミナーを開催した。

[内 容]:全プログラムとスケジュールの説明。経済的協力・支援の依頼。ご家族内のバックアップご協力依頼。

○＜専門的能力・技術の習得講座の実施＞

分野・コース	時間数	講座の人材育成目標
[A]「医療事務実践コース」	150時間(座学108時間、実技42時間)	「医療事務資格」の取得を目指し、医療事務コンピュータソフトの操作を含めた医療事務実務現場で即戦力の習得
[B]「ビジネスパソコン中級コース」	150時間(実習150時間)	OAソフトによる文書作成・表計算・データベース構築・プレゼンテーション作成、データ変換等、ビジネス現場で即戦力の習得
[C]「3D・CADシステムコース」	200時間(座学42時間、実技158時間)	CADシステムを利用したCADオペレータ業務、およびデータの運用・管理ができる能力の習得
[D]「DTP Webデザインコース」	200時間(座学65時間、実技135時間)	PCでグラフィックソフトを使用し、印刷物のデザイン、レイアウト、組版の業務ができる。また、Webサイトのデザイン、構築ができる能力の習得
[E]「ネイル2級習得コース」	150時間(理論・実技150時間)	「ネイル2級」の取得を目指し、高度な施術・接客対応マナーなど、プロのネイリストとしての必要な技能全般を習得する

○＜企業実習の実施＞

講座・コース名	実習時間	実習職種	実習先企業
[A]「医療事務実践コース」	70時間×2回＝140時間	調剤薬局医療事務	総合病院1箇所、調剤薬局1店舗
[B]「ビジネスパソコン中級コース」	70時間×2回＝140時間	一般企業・情報処理業務	広告業関係の企業
[C]「CADシステムコース」	70時間×2回＝140時間	機械・CAD設計業務	金型設計工場1社
[D]「DTP Webデザインコース」	70時間×2回＝140時間	印刷会社・広告デザイン業務	広告デザイン事務所3社

「ネイル」の実習は検定受験時期と重なり、検定対策を優先のため「企業実習」は実施を見送った。

○＜就職セミナーの実施＞

1. [企業実習前セミナー]

①職業適性検査
②コミュニケーションスキルアップ講座
③ビジネスマナー

☆セミナー時間数 標準6時間

※1. 2. の各セミナーは、個人のスキルに応じて時間延長し追加セミナーを実施した。

2. [就職活動前セミナー]

①自己PR(分析)
②職務経歴書(自己紹介書)の作成
③履歴書の作成
④企業・業界研究
⑤志望動機シートの作成
⑥「模擬面接」練習
⑦模擬面接ロールプレイ

★セミナー時間数 標準30時間

③支援対象者(受講者)の状況

	学習講座名	入校者数	途中辞退者	最終在籍者	就職内定者	就職決定者	決定者状況	備考
1	CAD講座	5	0	5	3	1	正社員	内定者の内1名は内定取消し、1名は内定後に条件変更で本人が辞退
2	DTP・Web講座	5	0	5	3	3	全て正社員	決定者の内1名は、並行して「統合失調症」の治療を受けていた受講者
3	パソコン中級講座	3	0	3	1	1	正社員	未決定者の内1名は、一部上場企業3次面接中
4	医療事務講座	3	0	3	1	1	正社員	
5	ネイル講座	2	1	1	1	1	契約社員	辞退者1名はアルバイトを優先したいの理由
	合計	18	1	17	9	7		

④啓蒙普及活動の実施状況

啓蒙普及活動として下記内容のセミナーを開催した。

1. [啓蒙普及セミナー 1]

- ◆開催趣旨:「若者」の早期離職の裏側にある社会的背景と、その受入れ企業や地域社会への啓蒙普及として開催。
- ◆開催日程:平成20年9月21日(日)
- ◆開催場所:「郡山市労働福祉会館」(郡山市虎丸町)
- ◆講演テーマ:『若者が社会的弱者に転落する』
- ◆講師:「宮本 みち子」氏(放送大学教授)
- ◆参加申込み者数:167名(若年者支援関係者、教育関係者、一般社会人)
- ◇来場者アンケート結果:「大変良かった、今後の参考になった」が 89.9%

2.〔啓蒙普及セミナー 2〕

- ◆開催趣旨:企業の「新入・若手社員」の人材育成と職場定着促進のため。(受け皿である企業の意識改革啓蒙として)
- ◆開催日程:平成20年11月29日(土)
- ◆開催場所:「郡山市労働福祉会館」(郡山市虎丸町)
- ◆講演テーマ:『新人・若手社員のやる気を引き出すコーチング術』
- ◆講師:「桜井 一紀」氏(㈱コーチ・トゥエンティワン社長)
- ◆参加申込者数:331名(企業、団体の経営者・人事担当者・管理者、教育関係者)
- ◇来場者アンケート結果:「大変良かった、今後の参考になった」が 96.2%

以上